

令和2年2月吉日

玉貫西1区 区長 様

武豊町議会  
議長 福本 貴久  
副議長 青木 宏和

## 住民対話集会におけるご質問について（回答）

昨年実施させていただきました住民対話集会において、ご質問いただきました項目について、町執行部に確認の上下記のとおりご回答させていただきます。

なお、回答までに時間を要しましたことについて、ご容赦いただきますと同時に、回答につきましては、現時点での対応であります。議会といたしましては、皆様のご意見を聞きながら更なる暮らしやすい住環境の構築のため活動してまいりたいと考えておりますので、今後ともご理解・ご協力賜りますようお願いいたします。

### 記

問1 防災ラジオを購入しようと思っても品切れの状態と聞く。いつでも購入ができるよう準備しておく必要があると思うがどうか。

答1 生産されて以降劣化が始まってしまう製品の性質の都合上、役場で在庫を多数保有することは適当でないと考えております。今後も見積もった希望数をまとめて購入してまいります。

#### 【防災交通課】

問2 ごみ減量についてゴミ袋の有料化については、高くしてほしくはないがどのようになるのか。

答2 ごみ処理の有料化については、ごみ減量化検討会議で課題の整理をしています。今後は、近隣市町の動向にも配慮しつつ、検討してまいります。【環境課】

問3 六貫山保育園の帰りに地区集積所におむつを捨てていく方が見えるので、注意喚起をお願いしたい。

答3 現在、保育園にて使用したおむつ等は、各個人で持ち帰り処分していただくようお願いしております。今後、注意喚起を徹底するとともに、保育園近くの集積所を見回りするなど努めてまいります。【子育て支援課】

問4 個人が家庭で木を植える場合、背丈より大きくなると剪定ゴミが多く出たり、ムク鳥などの鳥害の発生があるため、規制を考えてはどうか。

答4 ごみ減量のために、個々の家庭の樹木の高さを制限することに根拠となる法令などがない事から難しいと考えています。町では、焼却ごみ量の軽減のために、刈草・剪定枝の資源化に取り組んでいます。【環境課】

問5 不要となった家具などの交換所やオークション所の開設は考えていかないのか。

答5 衣服やキッチン用品など生活雑貨は、たけとよ資源回収エコステーションに併設された「武豊リユースステーション」で交換する制度を設けています。大型の家具などはスペースの課題等があり、開設は難しいと考えていますので、民間のリサイクルショップ等の活用を検討いただきますようお願いいたします。なお、木製の大型家具は、資源回収エコステーションで資源物として受け入れをしています。【環境課】

問6 高齢者のごみ回収を条件によりシルバー人材センターを活用して実施していただいているが、エコステーションに出すような資源ごみについてはどうなっているのか。

答6 シルバー人材センターと社会福祉協議会で、ごみを回収するサービスを行っていますが、どちらの事業者も「もやさなければならないごみ」のほかに、缶、ビン、ペットボトル等の資源物についても回収しています。【環境課】

問7 野焼きについて禁止されていることを積極的に発信してほしい。

答7 屋外での焼却行為は、正月の「どんど焼き」や農業における「ボタ焼き」など一部の例外を除いて禁止されています。野焼きへの対応については、野焼き現場におもむいて状況を確認したうえで、直接、野焼き者に対して、野焼きが禁止されていることを伝えています。なお、ホームページにおいて、野焼き行為が禁止されていることを紹介しています。【環境課】

問8 六貫川の排水能力をしっかりと確保すると同時に、臭気や害虫の対策をしてほしい。

答8 六貫川に関しては、改修後約40年が経過し、流域の宅地化が進み、当時に比べて周辺土地における貯水能力の低下が認められます。このため、今後排水計画の再検討を町全域で行い具体的な排水対策の検討を進めてまいりたいと考えます。また、臭気及び害虫の対処に関しては、定期的な清掃や、滞留部の解消等で対処したいと考えます。【土木課】

問9 武豊中央公園が断層の上にあるようだが大丈夫か。

答9 国土地理院の活断層資料図により、武豊中央公園の西側に「玉貫撓曲<sup>とうきよく</sup>」と呼ばれる、活断層が存在することが確認できます。活断層資料図では断層の上に武豊中央公園は位置していませんが、一時避難場所かつ一次避難場所であることから、地震等災害避難時の公園内施設利用については、応急危険度判定などを行ない、安全性を十分確認の上利用について考えてまいります。【都市計画課】

問10 避難所に指定されている施設に障がい者用のトイレが整備されていない。障がい者や高齢者の訓練への参加がしにくい状況であると共に、いざ本当に非難が必要となった時も避難を躊躇<sup>ちゅうちよ</sup>することとならないよう整備をしてほしい。

答10 1次開設避難所については、それぞれ障がい者用トイレ(車イス対応)が設置されておりますが、災害時にこれらの水洗トイレが使用できるとは限りません。このため、車イスの方でも利用できる広めの組立トイレ(ドント・コイ)を88基を整備してまいりました。また、来年度にはオストメイトトイレ(人工肛門や人工膀胱保有者の方も使えるトイレ)8基を整備予定です。

【防災交通課】

以上